

ナレッジ教訓シート

ジェンダー2	保健医療	保健・医療サービスにおける女性のアクセス、女性及びその周囲の理解の促進、ジェンダー視点に立った調査に係る取組
--------	------	--

適用スキーム	技プロ	開調	無償	有償	適用ステージ	形成	計画	実施	完了	供与後
	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		

適用対象サブセクター	指定なし
------------	------

教 訓	
種類	事業マネジメント上の教訓（分野横断的）
	<input type="radio"/> セクター・分野別の特性における教訓
	<input type="radio"/> 国別・地域別の特性における教訓（内陸国、島嶼国等の地理的特性を含む）
キーワード	母子保健、感染症、男性参加、セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス、コミュニティ啓発、妊産婦、家族計画、予防接種、母子手帳、エンパワメント

適用条件	要旨／問題の背景
母子保健、セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス、感染症対策に係る事業を計画・実施する場合。	国・地域により、ジェンダー不平等な社会規範や宗教的な制約などが、母子保健をはじめとする保健・医療サービスへの女性のアクセスを阻害し、妊産婦死亡率や感染症リスク等が高まる一要因となっている。コミュニティや家族への働きかけ・啓発や、それに有用なツール（例：母子手帳）、社会的・文化的慣習に留意したアプローチ等を取り入れることで、女性の保健・医療サービスへのアクセスを高め、女性とその周囲の理解の向上及び行動変容につながりうる。また、感染症の流行等の背景や影響に、ジェンダーに起因する要因がある可能性を念頭に置いた調査（詳細計画策定調査、ベースライン調査等）を行うことで効果的な活動を設計できる。 (参考資料：JICA「JICA 事業における ジェンダー主流化のための 手引き【保健医療】」(2023年1月))

リスク(留意事項)	対応策(アプローチ)
A. 女性の保健・医療サービスへのアクセスには、物理的・経済的要因及びサービス提供者的人材・技術不足に加え、ジェンダー不平等な社会規範（例：受診や経費の支出に男性の許可が必要）や宗教的な制約（例：	【コミュニティや家族への働きかけ・啓発に係る教訓】 1. ジェンダー不平等な社会規範や宗教的な慣習により世帯内の意思決定権の男性への偏りがある場合、女性の保健・医療サービスへのアクセス向上のためには、母親や女性に対する研修・啓発だけでなく、コミュニティや家族への働きかけ・啓発を行うことが必要である。（対応しているリスク（以下同様）：A）（レンタースプロジェクト：T29、T30、T181、T182、T149）

<p>伝統的祈祷師の利用)が影響している場合がある。そのような場合には、物理的なアクセスに係る介入や女性のみを対象とした研修・啓発だけでは十分に事業効果が得られないリスクがある。</p>	<p>例：ナイジェリアの「ラゴス州における貧困層のための地域保健サービス強化プロジェクト」案件では、保健施設へのアクセスに当たり、物理的なアクセスだけでなく、心理的なアクセスに着目し、家族計画や少子化対策に関する教育に男性も積極的に参加させた。その結果、女性へのアプローチが容易になり、女性パートナーによる一次保健センター施設での避妊サービスの利用が増加した。(T29)</p> <p>例：スーダンの「フロントライン母子保健強化プロジェクト」及び「フロントライン母子保健強化プロジェクトフェーズ2」案件では、村落助産師の能力強化及び活動の支援体制を強化するエンパワメントモデルを構築した。助産師は、妊娠婦の家族に対して妊娠の扱い方・非常時の対応方法の説明を行うなどの啓発活動を行い、助産師の役割に対するコミュニティの理解が深まり、産前ケアや家族計画の利用者が増えた。(T181)</p> <p>例：グアテマラの「ケツアルテナンゴ県、トトニカパン県、ソロラ県母と子どもの健康プロジェクト」案件では、保健センターと保健ポストがコミュニティで妊娠クラブを設立するよう促進した。これらのクラブは母親の意識啓発において重要な役割を果たしている。母親同士で産前健診や栄養摂取などの産前ケアに関する知識・経験を共有しており、これにより施設分娩の増加や低体重出生児の減少につながった。さらに、母子保健サービスの重要性に係る啓発など、一部の活動は夫を巻き込むことにより、母親の健康に対する理解をより深めることに成功している。例えば、妊娠クラブの活動に参加した夫の中には、以前と違って、妻が保健施設に行くことを許可したり、同行したりするようになった。(T182 (終了時評価報告書を含む))</p> <p>例：ニカラグアの「家族とコミュニティのための社会リスク予防・ケア統合行政サービス能力強化プロジェクト」案件では、思春期層に対するリプロダクティブヘルスに関する知識や保健サービスに関する認識の向上、適切な避妊法等の実践に焦点を当てた取組が行われた。若年妊娠の背景には、思春期層のリプロダクティブヘルスの知識のみではなく、年配者や家族が若年の結婚・出産を望むことがあった。そのため、女性のみならず、男性を含めた地域ぐるみのリプロダクティブヘルス推進の取り組みが実施され、ジェンダーの視点を含む地域住民全体の意識及び知識の向上が図られた。(T149)</p>
---	---

B. 事業対象地域の社会的・文化的慣習について把握し、同慣習に沿った介入を計画しなければ、対象女性・家庭レベルへのアプローチが限定的となる場合や、供与した施設や設備が十分に利用されず、効果が発現しないリスクがある。特に、男性による家庭レベルへのアプローチが難しい場合、女性の参画を確保しなければ必要なアクションがとられず、家庭及びコミュニティの健康の向上につながらないリスクがある。	<p>【社会的・文化的慣習を考慮した、女性やその家族へのアプローチに係る教訓】</p> <p>2. 女性個人や家庭レベルへのアプローチを行う際、事業対象地域の社会的・文化的慣習によっては、男性では家庭訪問や女性へのアプローチが難しい場合があり、女性のヘルスワーカーや医療従事者の育成がコミュニティの健康の向上において重要となる。(L227, T277, T289)</p> <p>例：パキスタンの「ポリオ撲滅事業」案件では、ポリオ撲滅のための予防接種啓発活動を実施するにあたって、文化的背景から男性ヘルスワーカーが家庭に入れない状況であったことから、女性ヘルスワーカーが中心的な役割を担った。家庭レベルでの啓発が求められる場合、文化的背景や慣習により男性による家庭訪問が難しいことがある。このような状況では、女性が積極的に参画することが、コミュニティの健康状態の向上にとって重要となる。(L227)</p> <p>例：ヨルダンの「ヨルダン南部女性の健康とエンパワメントの統合プロジェクト」案件では、リプロダクティブヘルス、家族計画、女性のエンパワメントの促進を地域密着型で行う「ヘルス・エデュケーター制度」を導入した。主に女性のヘルス・エデュケーターを雇用することで、家庭訪問や村落ヘルスセンターにおける知識の普及やカウンセリングを通じ、女性や家族に効果的に働きかけることができた。(T277)</p> <p>例：メキシコの「南部州子宮頸がん対策プロジェクト」案件では、子宮頸がんの発見数の増加や死亡率の低下を目指した診断技術の向上や患者へのフォローアップ能力強化を行った。既婚女性は男性医療スタッフによる細胞診断を受けることが認められない、女性自身が男性医療スタッフによる検診を望まないなどの課題があった一方、対象地域のジェンダーに係る慣習を考慮した活動や工夫が不十分であったため、プロジェクトの成果が十分に発現しなかった。(T289)</p> <p>【母子手帳の活用によるコミュニティ・家族の行動変容に係る教訓】</p> <p>3. 母子手帳は母親の知識向上や行動変容に貢献するだけでなく、家庭内のコミュニケーションツールとしての役割やコミュニティへの啓発の役割もあり、コミュニティや男性の行動変容に繋がり得る。一方で、普及には対象国における制度作りや利用者</p>

<p>じめとする男性の行動変容といった包括的な効果が得られないリスクがある。</p> <p>D. 母子手帳の普及を進めるにあたっては、対象国の制度への組み込みが重要であり、これが行われない場合は、十分に普及しないリスクがある。また、記載項目や記入スペースについても、利用者にとって利便性が低い場合、活用が進まないリスクがあるため、事前にニーズを把握し、内容を適切に設計することが求められる。</p> <p>E. 感染症流行の背景には、ジェンダーに起因する要因がある場合がある。その視点を持った調査をしなければ、感染症の早期発見・早期治療、感染者の追跡が困難となるリスクがある。</p>	<p>のニーズ把握、十分な啓発活動が必要である。(C, D) (T262、T248、T274)</p> <p>例：パレスチナの「母子保健リプロダクティブヘルス向上プロジェクトフェーズ2」案件では、母子手帳の普及を通じて、家族の健康に関する夫婦間のコミュニケーションが促進され、女性だけでなく男性の行動変容が見られた。また、母親の母子保健や家族計画に関する発言力が向上し、女性の意思決定への参加にプラスの効果があったとともに、男性が育児に協力的になり、母体や子どもについて心配するなどの行動変容があった。(T262)</p> <p>例：インドネシアの「母子手帳による母子保健サービス向上プロジェクト」案件では、母子手帳の活用による家族内やコミュニティの行動変容につながった事例が見られた。例えば、母子手帳は妊婦のみでなく、家族、特に夫にも自宅で読むように指導がされたため、妊婦の検診に夫が付き添ったり、母子手帳の有用性を知った地域のリーダーが地域の妊婦に母子手帳の活用を進めたりと、妊婦のみでなく妊婦を囲む周囲のサポートに変化が見られた。(T284)</p> <p>例：中国の「ワクチン予防可能感染症のサーベイランス及びコントロールプロジェクト」案件では、母子手帳事業は子どもにとって必要な対応等に対する母親の認識・意識の高まりや、母子に対する保健全体のレベル向上に貢献したが、中央政府レベルにおける母子保健手帳制度導入に関する方針の不在や利用者ニーズへの対応不備、不十分な啓発等により、普及には至らなかった。(T274)</p> <p>【感染症対策におけるジェンダー視点に係る教訓】</p> <p>4. 感染症流行の原因としてジェンダーに起因する要因がある場合があるという視点に立って調査し、活動の設計を行う必要がある。(E) (T123)</p> <p>例：アフガニスタンの「結核対策プロジェクト」及び「結核対策プロジェクトフェーズ2」案件では、結核患者に生殖年齢にある女性が多いことに着目して調査を行った結果、若年出産、多産など妊娠、出産に関わる要因が結核発病の危険因子となっている可能性があることが分かった。同調査に基づく介入を行った結果、患者の減少に繋がった。(T123)</p>
--	---

F. 対象課題の状況分析や対応策の検討において、受益者である女性の参加を促進しなければ、女性自身の理解が深まらず、知識向上につながらないリスクがある。	<p>【保健事業を通じた女性のエンパワメントに係る教訓】</p> <p>5. 事業を通じて女性のエンパワメントを図ろうとする場合、状況分析の活動に対象女性を積極的に取り込むことが重要となる。女性自身が、対象課題、自分たちが同課題にどのように関連しているか、その解決のために何ができるかを理解することがエンパワメントの鍵の一つとなる。(F) (T44)</p> <p>例：ボリビアの「オルロ県母子保健ネットワーク強化プロジェクト」案件では、地域の保健医療施設への信頼度の低さや、コミュニティ・家族内での女性の意思決定権の弱さ等の要因により、保健医療サービスの利用頻度が低いという課題があった。同課題に対応するため、住民参加による母子保健サービスの改善を目的とした本事業を実施した。「健康な生活のための現地教育ガイド」に基づき、女性の参加を促しながらコミュニティ活動が実施され、女性たちが自ら個人、家族、コミュニティの健康や教育の問題を特定し、分析を行った。その結果、女性たちが健康問題へのオーナシップを持つようになり、問題と解決策を理解するようになった。さらに、女性たちが活動から知識を得てエンパワーされることで、コミュニティの健康に関する要職に多く就くようになった。(T44 (事業完了報告書を含む))</p>
期待される効果	
<p>女性のみではなく、コミュニティや家族への働きかけ・啓発を行うことで、女性及びその周囲の理解向上や行動変容につながり、社会規範や宗教的な制約により生じていた医療へのアクセス制限が改善しうる。また、女性ヘルスワーカーの活用等、対象地域の社会的・文化的慣習に沿ったアプローチを取り入れることで、より広く女性及び家庭レベルへの啓発や普及活動ができる。さらに、感染症の流行等に関して、ジェンダー視点に立った調査を行うことで、ジェンダーに起因する要因を把握し、効果的な活動を設計できる。これらは、対象課題ごとで目指す妊産婦死亡率の低下や感染症の予防等に貢献する。</p>	

参考：本教訓の元となったレファレンスプロジェクト

No.	国	案件名	キーワード
T29	ナイジェリア	ラゴス州における貧困層のための地域保健サービス強化プロジェクト	男性参加、家族計画、リプロダクティブヘルス
T30	ナイジェリア	ラゴス州母子健康強化プロジェクト	男性参加、家族計画、リプロダクティブヘルス
T44	ボリビア	オルロ県母子保健ネットワーク強化プロジェクト	エンパワメント

T123	アフガニスタン	結核対策プロジェクト、結核対策プロジェクトフェーズ2	コミュニティ啓発、感染症
T149	ニカラグア	家族とコミュニティのための社会リスク予防・ケア統合行政サービス能力強化プロジェクト	男性参加、父母学校、ジェンダー研修
T181	スーダン	フロントライン母子保健強化プロジェクト、フロントライン母子保健強化プロジェクトフェーズ2	母子保健、リプロダクティブヘルス、コミュニティ啓発、妊産婦
T182	グアテマラ	ケツアルテナンゴ県、トニカパン県、ソロラ県母と子どもの健康プロジェクト	母子保健、コミュニティ啓発、妊産婦、男性参加
L227	パキスタン	ポリオ撲滅事業	コミュニティ啓発、感染症、予防接種
T262	パレスチナ	母子保健リプロダクティブヘルス向上プロジェクトフェーズ2	母子保健、リプロダクティブヘルス、母子手帳
T274	中華人民共和国	ワクチン予防可能感染症のサーベイランス及びコントロールプロジェクト	母子手帳、予防接種、感染症
T277	ヨルダン	ヨルダン南部女性の健康とエンパワメントの統合プロジェクト	コミュニティ啓発、家族計画、リプロダクティブヘルス
T284	インドネシア	母子手帳による母子保健サービス向上プロジェクト	母子保健、リプロダクティブヘルス、母子手帳
T289	メキシコ	南部州子宮頸がん対策プロジェクト	リプロダクティブヘルス
T290	ニカラグア	思春期リプロダクティブヘルス強化プロジェクト	コミュニティ啓発、家族計画、リプロダクティブヘルス

註【 T: 技術協力, P: 開発計画調査型技術協力, G: 無償資金協力, L: 有償資金協力 】